

【別紙様式3】

再評価実施事業調査書

番号	5	事業名	社会資本整備総合交付金 (港湾整備事業)		路線又は箇所名等	木更津港海岸 木更津地区				
事業所管課		港湾課			事業主体		千葉県			
事業化年度	平成10年度	用地着手年度	—		工事着手年度 工事終了認可年度	平成10年 ～令和15 年度	再評価の理由		再々評価	
費用便益比 B/C	4.4 (8.0)	総費用	109億円 (60億円)	総便益	483億円 (478億円)	基準年	令和 元年度	供用開始 年度	令和 16年度	

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

<p>【事業概要】 (目的) 木更津港海岸木更津地区における高潮対策事業として、陸上自衛隊木更津駐屯地の背後から、君津市との市境までの延長約9.2kmにおいて、海岸保全施設の新設・補強等を図ることで、高潮・津波による浸水被害を防止する。 (主な事業内容) 総事業費 101億円 整備延長 L=9.2km 排水機場 2基、水門 3基、樋門・樋管 4基、陸間 18基、 胸壁 L=1,805m、護岸L=7,201m</p>														
<p>【事業の進捗状況】 (R01年度末見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体計画</th> <th>投資事業費</th> <th>残事業費</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>101</td> <td>25</td> <td>76</td> <td>24.7%</td> </tr> </tbody> </table>						全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率	事業費(億円)	101	25	76	24.7%
	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率										
事業費(億円)	101	25	76	24.7%										
<p>【社会経済情勢等】 木更津港海岸木更津地区では、平成8年9月には台風17号による高潮と豪雨により、261戸（一部破損28、床上浸水32、床下浸水201）の家屋で床上や床下浸水被害を受けるなど、これまで高潮による浸水被害を受けており、早急に整備する必要がある。 平成23年3月11日の東日本大震災では、木更津市沿岸部にも津波は来襲しており、地震や津波対策に対する要請は一段と高まっている。 高潮による浸水想定区域内には市役所、消防署、警察署、JR木更津駅などの公共施設があり、また近年では木更津港を中心とした地域の再整備が図られるなど、浸水した場合の社会的影響が極めて大きい。</p>														
<p>【対応方針（案）】 木更津港海岸木更津地区は、全体事業の費用便益比(B/C)が4.4（残事業8.0）であり、事業の投資効果が見込まれる。 本地区において、高潮対策事業を実施しない場合には、甚大な被害が生じることが予想される。 このため、高潮に対する天端高不足を解消するとともに、耐震対策を推進し、早急に浸水被害からの防護を図る必要があるため、今後ともコスト縮減と効率化に努めながら事業を継続したい。 (計画高潮位A.P.+4.1mに満たない未整備箇所を優先して整備する。)</p>														

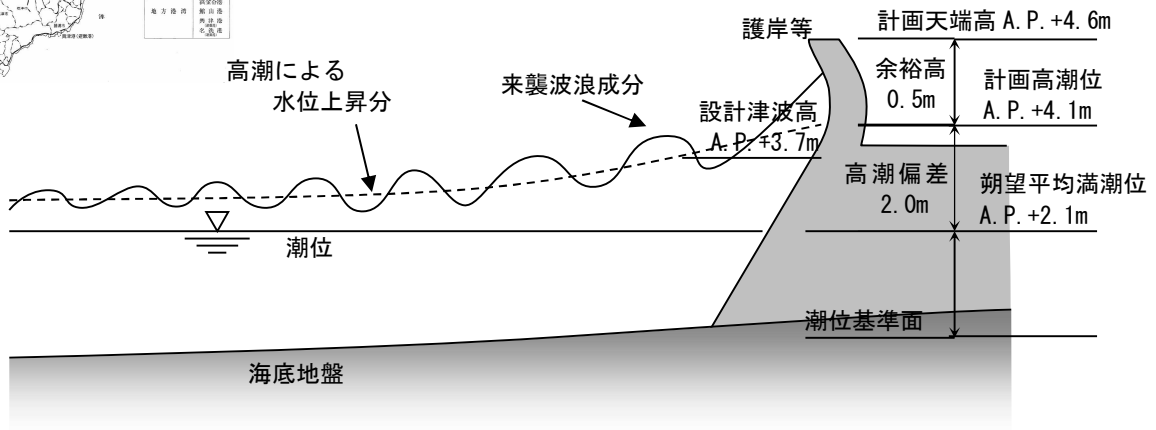
事業概要図

番号	5	事業名	社会資本整備総合交付金 (港湾整備事業)	路線又は箇所名等	木更津港海岸 木更津地区
----	---	-----	-------------------------	----------	-----------------

事業箇所図



計画天端高の設定方法の模式図



木更津港海岸高潮対策事業区域図



【別紙様式 5】

再々評価事業に関する調書

番 号	5	事 業 名	社会資本整備総合交付金 (港湾整備事業)	路線又は箇所名等	木更津港海岸 木更津地区
事業化年度	平成10年度	用地着手年度	—	工事着手年度	平成10年度

【再々評価 (H26 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 26 年度	供用開始年度	平成 46 年度	対応方針	継続
B/C	4.6 (7.6)	総費用	94 億円 (57 億円)	総便益	437 億円 (433 億円)

(※上段：全体事業、下段 ()：残事業)

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況	5 年後の推定進捗状況
全体事業費	101 億円	24 億円 (23.8%)	43 億円 (42.6%)
うち用地補償費	—	—	—

【再々評価 (R01 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和元年度	供用開始年度	令和 16 年度	対応方針	継続
B/C	4.4 (8.0)	総費用	109 億円 (60 億円)	総便益	483 億円 (478 億円)

(※上段：全体事業、下段 ()：残事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況
全体事業費	101 億円	25 億円 (24.7%)
うち用地補償費	—	—

再評価後の経過及び処理状況

- ・平成23年3月11日の東日本大震災では、木更津市沿岸部にも津波は来襲しており、地震や津波対策に対する要請は一段と高まっている。
- ・高潮に対する天端高不足を解消するとともに、地震・津波に対する耐震対策を推進し、早急に浸水被害からの防護を図る必要がある。